

高校生一日消防学校入校体験の概要

- 1 目的 児童、生徒に対する防災教育の一環として、高校生を対象に消防・救助・救急活動の体験訓練や災害発生時の緊急援助活動等が体験できる「一日消防学校」（宿泊体験入校）を実施し、将来の地域の安全安心に貢献できる人材の育成を目指すもの。
- 2 日時 平成27年10月3日（土）10:00から10月4日（日）11:30まで
- 3 場所 富山県広域消防防災センター・富山県消防学校
- 4 参加者 富山県内の高校生 17名（内 女子1名）
- 5 内容及び感想

○四季防災館の体験はいかがでしたか？

- ・暴風雨の体験をした
- ・シアターの映像は、迫力があってよかった
- ・台風など風の災害についてもっと学びたい



○訓練礼式

- ・日常生活では味わえない緊張感だった
- ・消防の礼儀の厳しさと決まり事など大変さが礼式から感じました



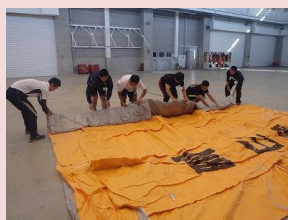
○応急処置

- ・意外と身近にあるもので応急処置ができた
- ・三角巾1つで出血を止めたり、腕を固定したりとさまざまな応急処置ができることにとっても感心しました
- ・今後、いざという時に活用したいです



○避難迷路室体験

- ・暗いところでは、本当に何も見えず五感を使って対応することが大切だと思いました
- ・煙があると前が見えず混乱してしまいました。緊急時には落ち着いて対応しなければいけないと思った



○エアータント取扱い

- ・よくテレビなどで見ていたものを実際に作ってみて、空気でも頑丈なテントができたのでびっくりしました
- ・実際の現場で使われるものだと思うととても貴重な体験ができた

○避難所作成、寝袋での睡眠

- ・各小隊で工夫して避難所作成し、コミュニケーションを取りながら、オリジナルの形ができました
- ・ダンボールだけで作ったので最低限のものとなりました。あらためて、災害には遭いたくないと思いました

○自己紹介・教官の災害現場の話

- ・みなさん、ユニークな自己紹介をしていてとても面白かった
- ・災害現場で直接出た人にしかわからない言葉を聞くことができよかったです

○消火体験・救助体験

- ・人生初の消防車の乗車だったので、興奮しました。消火訓練では、水の勢いが強く驚きました
- ・消防隊員は、安全にとっても気を使っていて、命を大切にしていることが伝わって来ました



○全体を通しての意見や感想

- ・教官の話聞いて訓練はとて厳しいことが分かり、他人のために働くことは簡単なことではないと感じましたが、以前よりも消防士となって市民のために働きたいという気持ちが高まりました。今回は、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました
- ・一日消防学校を体験して、消防では仲間の協力がとても大切で、そのためには大きな声を出してコミュニケーションを取らなければいけないと分かりました
- ・普段学べないことが体験でき、とても感謝しています。自分は、救急救命士になるため大学に進みますが、知識や技術はもちろん心身を鍛えて消防士を目指したいと思います。